

医療・介護用3Dセンサー開発ベンチャーへ出資・支援

アイデアクエスト社より新商品の非接触・無拘束ベッド見守りシステムが販売開始

東急不動産ホールディングス株式会社(本社:東京都港区、社長:大隈 郁仁)は、医療・介護用3Dセンサー(※1)の開発ベンチャー、株式会社アイデアクエスト(本社:東京都大田区、社長:坂本 光広)の先駆的な3Dセンサー技術の将来性を評価し2015年2月より出資、以来、同社の研究開発を支援してまいりました。

このたびアイデアクエストより、新商品となる非接触・無拘束ベッド見守りシステム「OWLSIGHT(アウルサイト)」が販売となりましたので、お知らせいたします。



設置イメージ



商品本体

◆非接触・無拘束ベッド見守りシステム「OWLSIGHT(アウルサイト)」

OWLSIGHTは人工知能を備えた見守りシステムで、センサー部分に光を用いることで非接触・無拘束でベッド上の異変を判断することが可能です。また、タブレットなどを用いて遠隔での異変を知らせてくれるほか、プライバシーにも配慮し、個性を識別しない輝点画像の取得により被介護者の動作確認が可能な仕組みとなっています。

◆アイデアクエスト社について

アイデアクエスト社は、画像工学研究で知られる慶應義塾大学中島真人名誉教授の3D計測技術を基にエンジェル資金等を集め、中島名誉教授と元サイバーダイナミクス副社長坂本光広氏により2012年に設立されました。以来、これまでに医療用3種(新生児保育器用、睡眠時呼吸診断用他)、介護用5種(ベッド用、浴室用、トイレ用他)、合計8種の3Dセンサーのモデル開発に成功し、代表的な商品「ベッド見守りセンサー」を含む6種が経済産業省・AMED(※2)「ロボット介護機器開発・導入促進事業」、NEDO(※3)「イノベーション実用化ベンチャー支援事業」、神奈川県「重点プロジェクト」等の公的助成金対象に採択されています。またこの「ベッド見守りセンサー」は、その一部機能が、2015年4月から「介護保険対象機器」の給付対象となっています。

同社3Dセンサー技術(国内外特許取得済)の特長は、これまでのセンサーと異なる距離測定原理によって超高精度計測を実現したことであり、さらに人工知能による機械学習を組み合わせ、人の危険な状態を検知することが可能となっています。これによって、人体に触れることなく、「より優しく」「より確実に」呼吸の微細動や異常動作の予兆を知ることができるため、医療・介護現場の負担軽減に役立つことが期待されています。

◆東急不動産ホールディングスのベンチャー企業支援活動

東急不動産ホールディングスでは、急速な高齢化がもたらす医療・介護の見守りや事故予防の需要逼迫を予期し、センシングに関する独自技術を持つアイデアクエスト社に出資を決定いたしました。関係分野の先駆的研究に関わることで、さらに次世代の新たな技術発掘に取り組むとともに、グループで展開するウェルネス事業や管理事業等との連携を図り、独自性のある新たな価値を創造してまいります。

中長期経営計画でも、強みである幅広いグループリソースを最大限活用することで、事業環境変化に柔軟に対応し新たな需要を創出していくことを掲げています。

今後も、将来的な課題解決に向け、新たな技術を有するベンチャー企業への投資、支援活動を継続的に行ってまいります。

株式会社アイデアクエスト概要

名称	株式会社アイデアクエスト
所在地	東京都大田区東糀谷6-4-17-404
設立年月	2012年3月14日
代表者	代表取締役会長 CTO:中島 真人(慶應義塾大学 名誉教授) 代表取締役社長 CEO:坂本 光広(元サイバーダイン副社長)
資本金	3億9千4百万円(2015年6月現在)
従業員数 (2015.10月時点)	研究開発要員14名、事務員数3名、企画3名、営業3名、 役員数7名(内当社から社外取締役派遣1名)
事業内容	1. 画像技術関連機器および画像技術関連ソフトウェアの研究開発 2. 医療・福祉介護機器および医療・福祉介護システムの研究開発 3. 生命身体機能測定診断装置および生命身体機能測定診断システムの研究開発 4. 高齢者・障害者・乳幼児の生命・生活の安全見守りに関する機器およびシステムの研究開発 5. 国際間を移動する航空機に搭乗する乗務員、旅客の生命身体機能測定診断システムの研究開発

<用語解説>

- ※1「3Dセンサー」 立体の形状を、三次元の空間座標データ(x、y、z)として感受する電子機器
- ※2「AMED」 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
- ※3「NEDO」 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

以上